

# 機器接続マニュアル



## 機器接続マニュアルに関する注意事項

本書を正しくご使用いただくために、ご使用前に必ず「マニュアルPDFをダウンロードする前に」をお読みいただき、「はじめに(商標権などについて、対応機種一覧、マニュアルの読み方、表記のルール)」マニュアルをダウンロードしてください。ダウンロードされたマニュアルは、必ずご利用になる場所のお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

# 付録 (株)日立産機システム

## 付 .1 連続アドレスの最大データ数

連続アドレスの読み出し時の最大データ数を各PLCごとに示します。ブロック転送を利用される場合に、ご参照ください。



- ・以下の方法でデバイスを指定すると、デバイスの読み出しの回数が増えるため、データ通信速度が低下します。
  - ・連続アドレス最大データ数の範囲を超えている場合
  - ・アドレスを分割して指定している場合
  - ・デバイスの種類が異なる場合
- データ通信を高速に行うには、画面<sup>\*1</sup>単位でデバイスが連続になるようにタグのレイアウト設計を行ってください。

### PLC

<HIDIC H(HIZAC H)シリーズ>

デバイス	連続アドレス 最大データ数	デバイス	連続アドレス 最大データ数
外部入力 X	60ワード	ウォッチドッグタイマ WDT	60ビット
外部出力 Y		モノステーブルタイマ MS	
リモート入力リレー X		積算タイマ TMR	
リモート出力リレー Y		アップカウンタ CU	
内部出力 R		リングカウンタ RCU	
第1CPUリンク L		アップダウンカウンタ CT	
第2CPUリンク L		拡張タイマ TM	
データエリア M		ワード内部出力 WR	
オンディレータイマ TD	タイマ・カウンタ経過値 TC		
シングルショットタイマ SS	ネットワークリンクエリア WN		
	拡張タイマ(経過値) TV		

Ethernet 通信

< HIDIC Hシリーズ >

デバイス	連続アドレス読み出し 最大デバイス数
外部入力	120ワード
外部出力	
リモート入力リレー	
リモート出力リレー	
内部出力	
第1CPUリンク	
第2CPUリンク	
データエリア	
タイマ・カウンタ(経過値)	
ワード内部出力	
ネットワークリンクエリア	

■ インバータ

< SJ300/L300P シリーズ >

デバイス	連続アドレス読み出し
モニタデータの一括読み出し	13ダブルワード
インバータの状態読み出し	4ワード
トリップ来歴の読み出し	55ダブルワード
1 設定項目を読み出し / 設定	1ダブルワード
出力周波数設定値の 読み出し	1ダブルワード

## 付.2 デバイスコードとアドレスコード

デバイスコードとアドレスコードは、EタグまたはKタグの間接アドレス指定時に使用します。EタグまたはKタグで指定したワードアドレスに、表示するデータのワードアドレスをコード化して格納します。(コードの格納は、PLC側またはTタグ、Kタグなどで行います)

PLC

< HIDIC H (HIZAC H) シリーズ >

	デバイス	ワードアドレス	デバイスコード (HEX)	アドレスコード
ビット デバイス	外部入力	WX0000 ~	×	×
	外部出力	WY0000 ~	×	×
	リモート入力リレー	WX1000 ~	×	×
	リモート出力リレー	WY1000 ~	×	×
	第1CPUリンク	WL000 ~	C800	ワードアドレス
	第2CPUリンク	WL1000 ~	C800	ワードアドレス
	データエリア	WM000 ~	9000	ワードアドレス
ワード デバイス	タイマ・カウンタ (経過値)	TC000 ~	6000	ワードアドレス
	拡張タイマ (経過値)	TV0000 ~	6200	ワードアドレス
	ワード内部出力	WR0000 ~	0000	ワードアドレス
	ネットワークリンクエリア	WN0000 ~	5000	ワードアドレス
	LSエリア	LS0000 ~	4000	ワードアドレス

### ■ インバータ

< SJ300/L300P シリーズ >

デバイス	ワードアドレス	デバイス コード
正転/逆転/停止指令	00_00	0200
周波数指定の設定	01_00	0440
インテリジェントターミナルの 状態を設定	02_00 ~	0640
モニタデータの一括読出し	03_00 ~	0840
インバータの状態読出し	04_00 ~	1200
トリップ来歴の読出し	05_00 ~	1440
1設定項目を読出し/設定	A_001 ~	2040
	b_001 ~	3040
	C_001 ~	5040
	F_002 ~	1040
	H_003 ~	6040
	P_001 ~	7040
各設定値を初期値に戻す	08_00	1600
EEPROMに設定値を保存可能か どうかチェック	09_00	1800
EEPROMに設定値を保存	0A_00	2200
内部定数の再計算を行う	0B_00	2400
出力周波数設定値の読み出し	0E_00	2640
LSエリア	LS0000 ~	4040